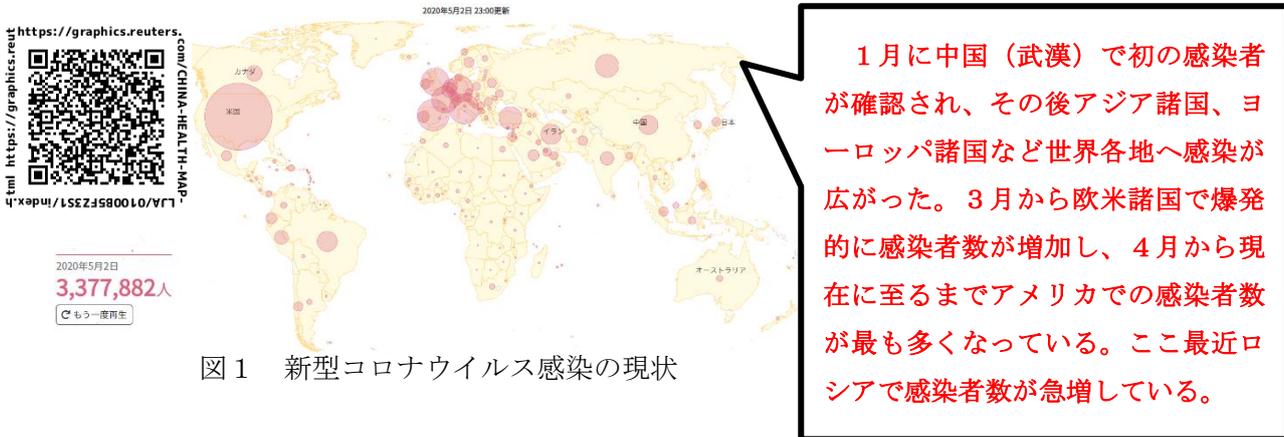


第3章 地図を作って感染のようすを見る

この課題には決まった正解はない。世の中にあるさまざまな統計を地図によって「見える化」し、感染が拡大している国にどのような特徴があるのかを結び付けて考えることを目標としている。考察において大切なのは、たとえ同じ情報（材料）をもとにしても、考え方や捉え方（レシピ）が人それぞれで、結論（完成品）も違って良いという点である。それが考察における醍醐味である。これらの点を踏まえて、以下の内容に取り組んでみよう。

1 節 世界

① 下のQRコードを読み取ると世界中へ感染が広がっていく様子を読み取れる。繰り返し再生し、現在に至るまで感染が拡大していった流れを簡潔に説明してみよう。



② 図2は、2020年5月2日現在、各国の人口100万人あたりの新型コロナウイルス感染者数を示したものである。この地図を見て、次の問いに答えよ。



②-1 【考察】 図1・2をそれぞれ比較・対照することで、どのようなことが読み取れるだろうか。特定の国や地域に着目して考えてみよう。

図1で実際の感染者数の多いヨーロッパやアメリカでは、図2の人口比の感染者数も多い。同様に、図1で感染者数が少ないアフリカでは、図2の人口比の感染者数も全体的に少ない傾向にある。一方で、北欧諸国や南米諸国のように、図1ではあまり目立たないが、図2の人口比でみると、多くの感染者がみられる国もある。ほかに当初、感染者数が多かった中国やインドなど、人口規模の大きいアジア諸国では、図2の人口比でみると比較的少ない傾向にある。

②-2 図1および図2は、ともに数値情報で表された地理情報を地図化した統計地図である。統計地図は、絶対値を示した絶対分布図と、単位面積あたりなどの相対値を示した相対分布図に大別される。図1・2はそれぞれどちらに分類されるか。

図1 (絶対分布図) 図2 (相対分布図)

②-3 **【考察】** 図2では、「2000」、「500」、「100」、「50」、「10」という値で模様を変えている。この値を決める際、どのようなことに注意すべきか。作図者がなぜこのような区切り方をしたのかという視点で考えてみよう。

区分値を決めるのは、「非常に多い」「多い」「やや多い」「やや少ない」「少ない」「非常に少ない」のように、指標を相対的に評価できるようにするためである。そのため、バランスよく指標を配分する必要がある。例えば、「非常に多い」の国が多すぎるなど、特定の区分に多く集まりすぎると、他国と比べることが難しくなってしまう。

次に、図を見る人にとって、ある程度区切りの良い値にすることも大切かもしれない。図を見た際に直感的に理解しやすいよう配慮して、区分値を設定することが、作成者には求められる。

③ 次の資料および感染者数に関係しそうな地理情報を読み、以下の問いに答えよ。

『資料 新型コロナウイルスはどのように感染するか。』（厚生労働省 HP より抜粋）

一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

「飛沫感染」とは： 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

「接触感染」とは： 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

(感染者数に関係しそうな地理情報)

A 人口密度 (2016年) : 各国の1 km²あたりの人口数

B 15~64歳人口率 (2015~2018年) : 各国の15~64歳の人口が国民全体に占める割合

C 65歳以上人口率 (2015~2018年) : 各国の65歳以上の人口が国民全体に占める割合

D 第3次産業従事者人口割合 (2018年) : 第1~3次産業に分けたうちの第3次産業に従事する人の割合

E 1人あたりGNI (2018年) : 各国の一人あたり国民総所得

F 都市人口率 (2018年) : 各国の総人口に対する都市部エリア人口の比率 (*国によって若干定義が異なるが、一般的に先進国や新大陸で高く、発展途上国で低い傾向にある。)

③-1 資料の内容を参考に、次ページの A~F の地理情報のうち、人口 100 万人あたりの新型コロナウイルス感染者数と関係がありそうな指標を1つ以上とりあげて、確かめてみよう。

とりあげる指標 (省略)

③-2 【仮説】③-1 でその指標をとりあげた理由 (こういう傾向がありそうという予想で OK)

省略

③-3 【作業】次ページの地図に、2020 年 5 月 2 日現在の人口 100 万人あたりの新型コロナウイルス感染者数がトップ 30 の国 (人口 100 万人以上を対象)と日本について、別紙資料を参考に、③-1 でとりあげた指標を色鉛筆 or マーカーで着色し、オリジナル階級区分図を作成しよう。

5, 6 ページを参照。MANDARA にて作成。

③-4 【考察】これまで得た情報をもとにして、世界の新型コロナウイルス感染拡大に、どのような地理的要因が影響を与えていると考えられるか、特定の国や地域などにも着目して、自分なりに考察せよ。(別紙資料、自分で別に調べたこと、ニュース等の内容と関連づけても面白い)

(都市人口率の考察例)

図 2 の人口比の感染者数と都市人口率を重ね合わせ、ヨーロッパやアメリカなどに着目すると、都市人口率が高い (低い) 国ほど、人口比の感染者数も多い (少ない) 傾向がみられる。この理由として、飛沫感染や接触感染で感染しやすいという新型コロナウイルスの特性が関係していると考ええる。最近のニュースでも、感染を防ぐために、「密閉」「密集」「密接」の 3 密を控えるよう、呼びかけている。この 3 密は都市という人が多く集まりやすい環境において多く見られる。そのため、都市人口率が高い国ほど人口比の感染者数も多い傾向にあるのではないかと考察する。

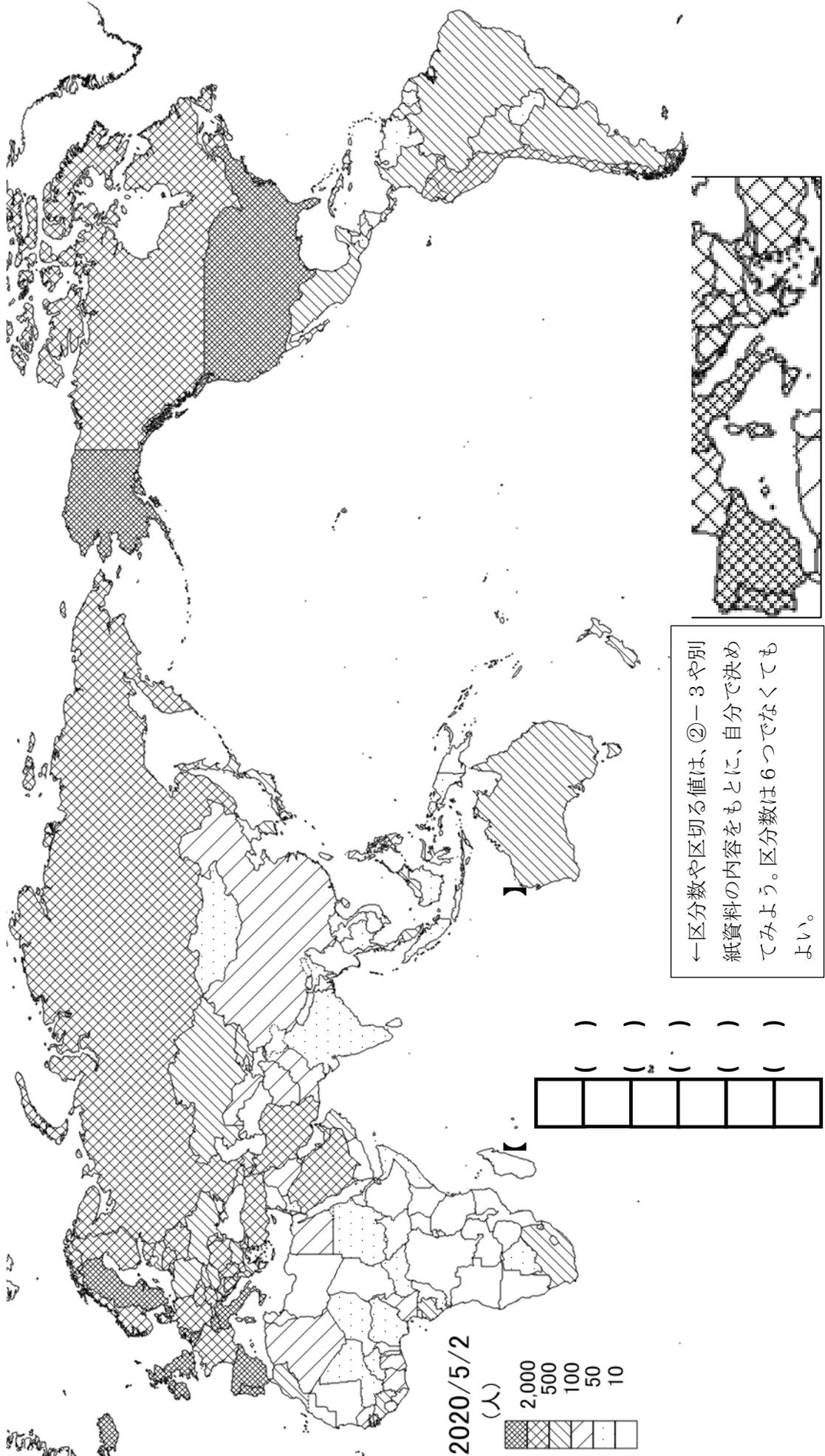
一方で、ヨルダンやベネズエラなど都市人口率は高いが、人口比の感染者数が少ない国も一定数存在する。様々な理由があると推測されるが、都市人口率以外の要因が関係していると考えられる。

③-5 【考察】とりあげた地理情報以外で、世界の感染拡大に影響を及ぼしそうな地理的要因には、どのようなことが考えられるだろうか。いくつか挙げてみよう。

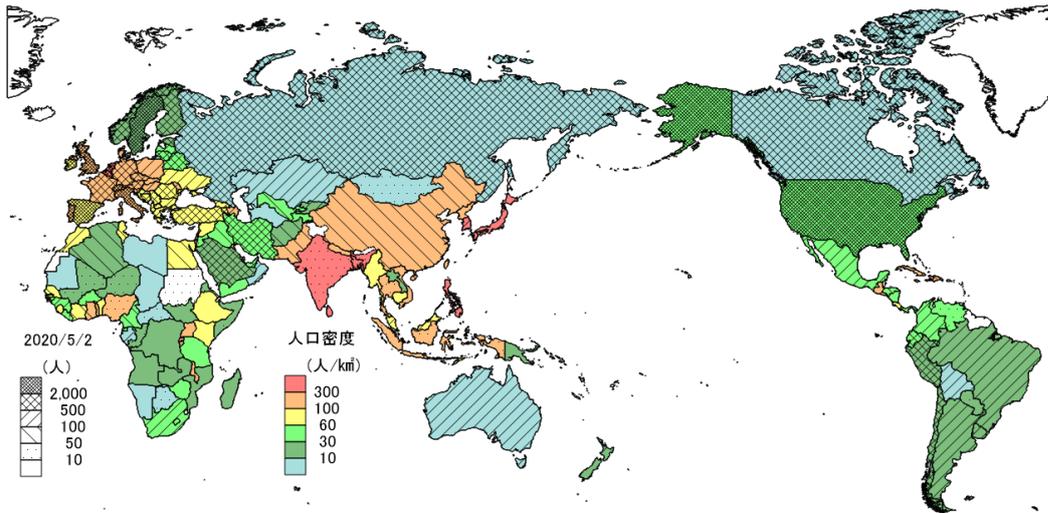
(考察例)

- ・各国の外国からの観光客数 (観光客が多い国ほど感染が拡大している?)
- ・各地の気候 (気温…低いほど感染が拡大しやすい? / 湿度…乾燥地域ほど感染が拡大しやすい?)
- ・民族分布 (文化的習慣の差異…あいさつの習慣の違い) など

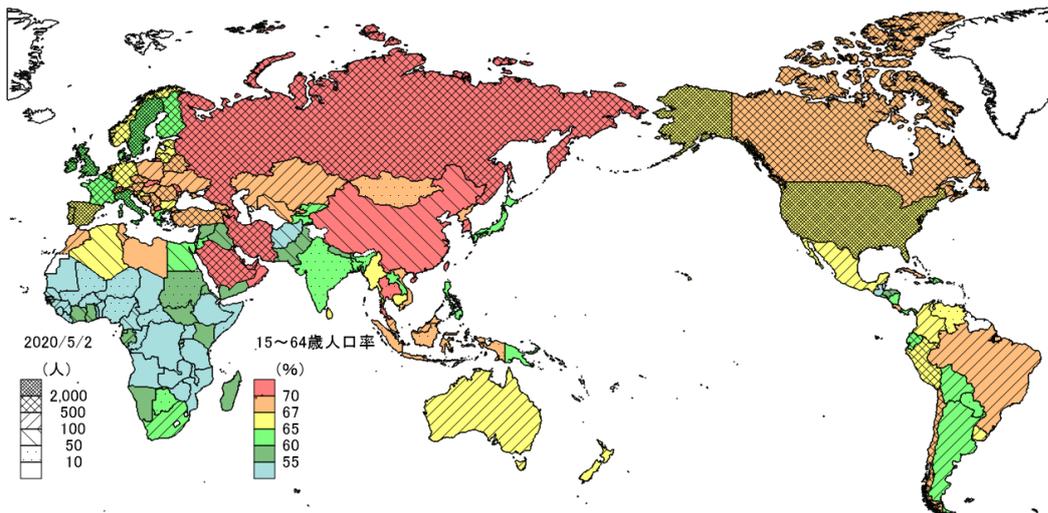
③-3 【作業】 別紙資料の1～30番の国と日本について、③-1で取り上げた地理情報について、傾向がよく表れるような階級区分図を作成しよう。
 (*余力があれば、30番以降の国も着色して見えてくる。 *地図上で確認できないほどの小国は除いて着色してよい)



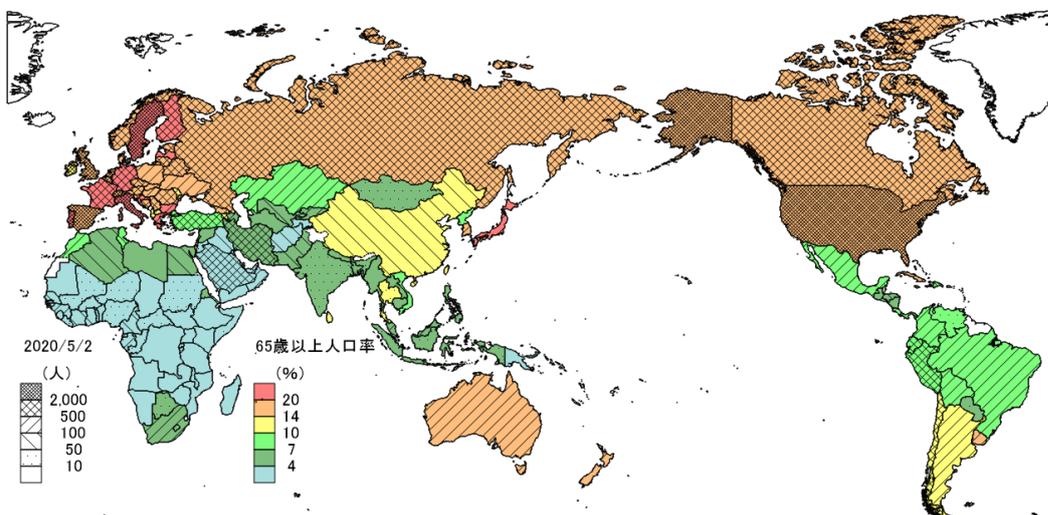
A 人口密度



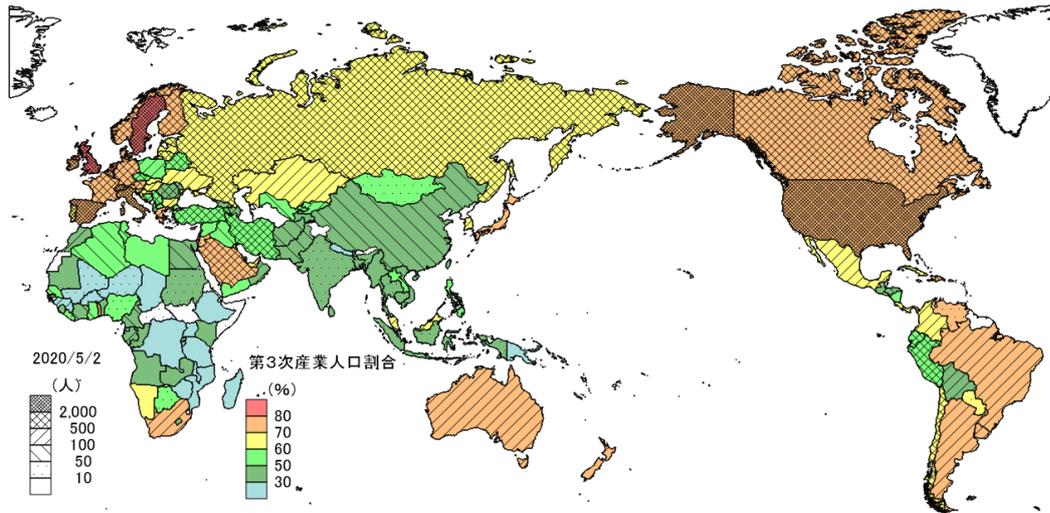
B 15~64 歳人口率



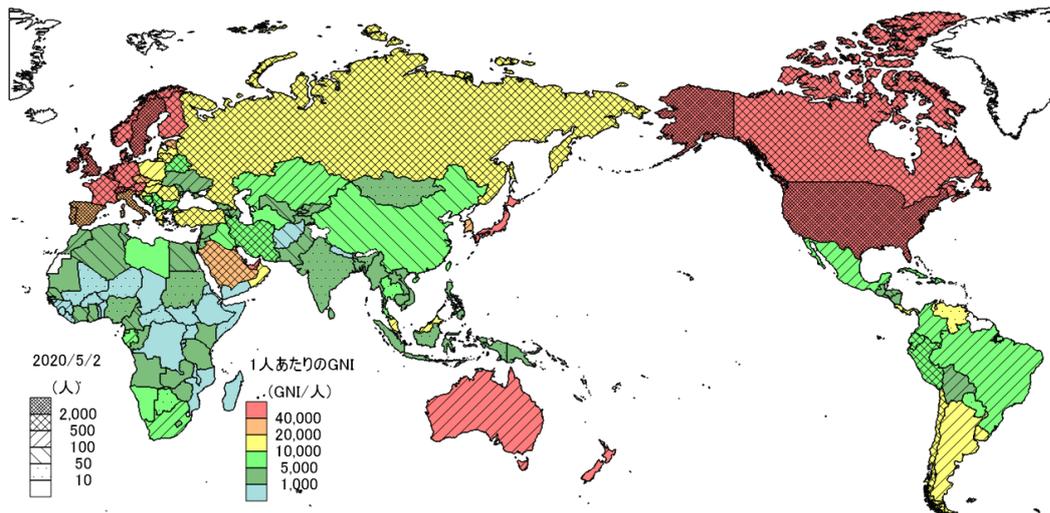
C 65 歳以上人口率



D 第3次産業従事者人口割合



E 1人あたりGNI



F 都市人口率

